

電気のいろいろも学んで 環境のことを考えていきます

専門委員会と呼ばれていた時代から水や洗剤など様々な環境問題について学び・研究し、伝え広げてきた、グループ「エコライフ」の皆さん。毎月1回集まって学習したり、環境にかかわる資料作りを行なっています。「環境問題ってたくさんあって見方によって考え方も変わってくるから、理解して伝え広げるためには、いつも勉強（情報収集）よ」とメンバーの皆さんは言います。

取材に伺った日は、南港（住之江区）にある関西電力の施設「エル・シティ・ナ

左端が火力発電所の煙突

グループ活動の コーナー

グループ活動は組合員さんが5人以上でテーマを決めて自主的、主体的に、くらしや社会について考えます。現在、32のグループがあります。



の煙突（住之江区）にある関西電力の施設「エル・シティ・ナ

から海底を通るパイプで運ばれた天然ガス（LNG）をボイラーで燃焼させて発電機で電気を起こし、送電する仕組みを採用しています。残念ながら団体で申し込

まないと発電所内は見学できませんでしたが、「煙突から白煙が上っているのを見ると稼働してるんやなあと実感するわ」「消費地・大阪市内の近くで発電することです送電時のロスが少ないのは良いよね」「万一事故があっても大気中への排出で見ると原発と違って被害は少なそう」などの感想が出されていました。

新しい「グループ」を立ち上げたい方はぜひ、グループ説明会にご参加ください。

日時 5月14日(火) 10:30~12:00
申込締切 5月13日(月) 17:00まで

場所 パルコープ本部(京橋) 2階

参加申し込み・問合せは組合員活動サポートセンター(5ページ下参照)へ

※グループには活動費の補助があります

理事会報告

2012年度 第9回
2月6日

(単位:千円)

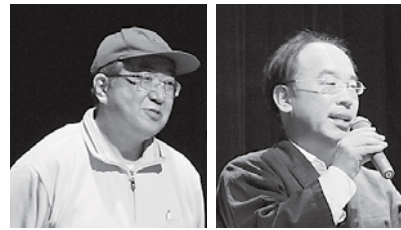
事業概況	1 月 度			累 計 (4月~1月)		
	実績	計画比%	前年比%	実績	計画比%	前年比%
供給高	4,728,901	106.3	94.9	42,647,757	100.1	101.4
供給剰余金	1,243,044	102.6	93.8	10,799,175	99.6	100.6
福祉剰余金	3,103	112.4	124.5	31,385	112.5	104.7
事業総剰余金	1,338,712	102.3	93.7	11,814,420	99.7	100.5
事業経費	1,008,440	94.4	97.8	10,779,551	97.8	100.5
事業剰余金	330,271	137.3	83.2	1,034,868	124.4	101.2
経常剰余金	336,966	134.9	84.7	1,100,047	119.8	101.8

おもに討議、確認した内容

- 共同購入の供給高(生活サポート除く)は計画比107.6%、前年比93.1%(昨年より配送日が3日少ないため)でした。利用人数と世帯利用高は前年より伸ばしました。店舗の供給高は計画比101.6%、前年比102.4%と達成しました。来店1回あたりの利用高は前年比102.0%、来店人数は前年比100.4%でした。
- 北枚方支所への「太陽光発電」の設置について
- 2012年度第2回総代懇談会について
- 2013年通常総代会にむけて
- 被災地応援と今後のすすめ方

「ボランティアバス参加者のつどい」 3月17日・IMPホール

一緒にボランティアバスに参加した仲間との再会を楽しみました



被災地語り部の釘子さん(左)と上長部で畑作りなどの指導をしてくださる遠野まごころネットの斉藤さん。

2011年から2012年の年末までの「岩手ボランティアバス」に参加された組合員さんと役員、募金協力組合員さんが一同に会した、パルコープ・よどがわ生協共催の「つどい」。遠野まごころネットの斉藤さんと陸前高田市被災地語り部の釘子さんがこの日のために岩手から来られて報告を。また、3名の組合員さんよりスピーチもいただきました。職員ボランティアが現地でふるまっているタコヤキやぜんざいなどの屋台を楽しみながら旧交を温め、被災地への思いを共有しました。参加者はご家族や要員を含め330名。参加費と当日の応援グッズ販売の収益、まごころ募金4,493円を合わせて募金とさせていただきます。

参加者の感想

2カ月前に行きましたが、その後のことも知ることができたこと、懐かしいボランティアバスの仲間の顔が見れた事、釘子さんのお話をまた聞くことができたことがうれしく「よし、また参加しよう。一つでも地元の商品を買ってまわりの人たちに言葉で伝えていこう」という気になりました。(金子さん)

四月から高校へ進学しますが、「何気ない日々」を送ることの難さを改めて感じさせられました。「(ボランティアバスの出発式で聞いた)微力は無力にあらざ」という言葉を信じて、またボランティアバスに参加したいと考えています。もう一度現地で全力で働き、微力の一つになりたいです。(開田さん)



職員によるタコヤキやぜんざいなどの屋台も

たくさんの映像を見ましたが、丸太小屋が建った経過、村の人たちの思い、生協さんと現地のひとたちのつながり、これからの活動、すべてにおいて私の心にずしんときました。映像を見ながら涙が止まりませんでした。これだけの人が同じ気持ちで集まっている...世も捨てたもんじゃなあとと思います。(松村さん)



NO.31

被災者に寄り添い、 絆をつなげる支援活動を



進学・新学期の時期です。陸前高田市の学校では、津波渦をまめがれた運動場もほとんどが仮設住宅になり、子どもたちが思いっきり体を動かす場所がなくなっている中、「長部(おさべ)小学校仮設グラウンド」以外にも市内に2つの仮設グラウンドができています。雪も消え、クラブ活動をはじめ、他県とのサッカーの交流試合や、高齢者の方々の楽しみのグラウンドゴルフ大会も再開されると聞いています。一方で、市内に唯一の高校では、他市に設けられた仮校舎に時間をかけた通学を強いられる状況がまだ2年は続く見込みで、教育の復興が急がれる思いになります。

また、遠野まごころネットでは、3回目となった「返済義務のない奨学金」は、この春は116名の奨学生にお届けすることができました。応募書類からは教育面での経済的支援の必要性が高いことがうかがえ、多くの奨学生の方々が、自らの将来のみならず「故郷の復興」を真剣に考えている姿に、頼もしさを教えてもらっています。

(NPO遠野まごころネットに常駐する
パルコープボランティア事務局・林さんより)
遠野まごころネットのホームページは
<http://tonomagokoro.net/>



※ボランティアバスの募集案内はホームページにも掲載しています。http://www.palcoop.or.jp/pal_news/information/tour2.html

お1人でも
ご家族でも

参加者募集

よどがわ生協・ならコープ合同企画

2013年度 第3回「岩手ボランティアバス」

【日程】6月21日(金)~6月24日(月)

【申込締切】5月24日(金)

【募集定員】20名(3生協で60名)

1度参加された方も、申し込みを受け付けています。定員を超えた場合は抽選となります。(初めての方が優先です)

【参加費】お1人8,700円

(ボランティア保険・宿泊費、食事代含む)

【行程】3泊4日(車中2泊)・大型観光バス2台

1日目 パルコープ本部(京橋)集合(18時) <車中泊>
2日目 岩手10時頃着、ボランティア活動、被災地視察 <宿泊泊>

3日目 ボランティア活動 <車中泊>

4日目 パルコープ本部前到着(9時頃)

【参加条件】組合員さん、及びその家族で安全上、中学生以上の方。

- * ボランティアの内容と場所は、現地での要請に基づきます。
- * 持ち物などの詳細は別途、参加者にご案内。宿舎は男女別・相部屋。
- * 天候不順などにより中止になる場合があります。

【申し込み・問い合わせ】パルコープ組織部

☎06-6242-0904 (月~金 9時~18時)

今年はエリアを
大槌町にも
広げます